
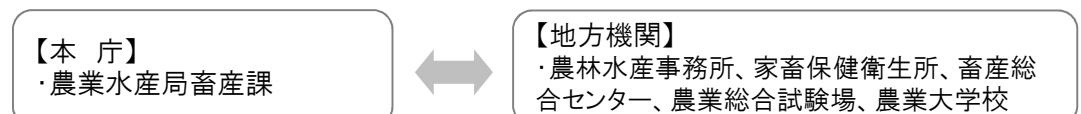

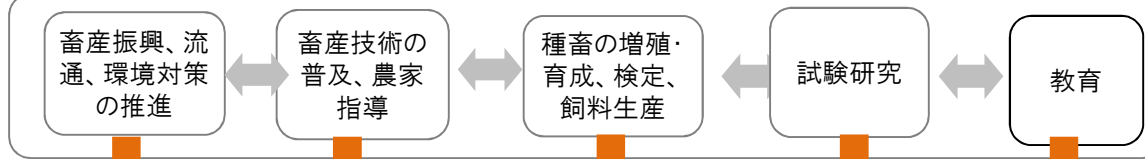
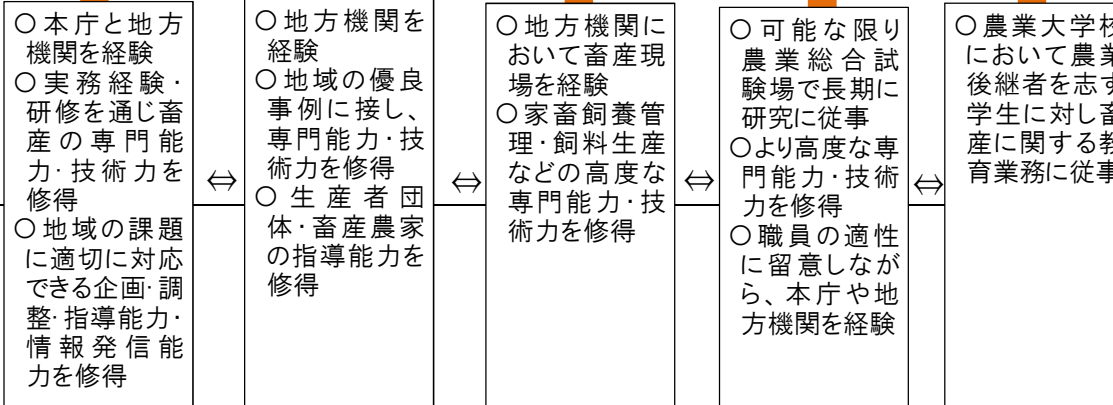
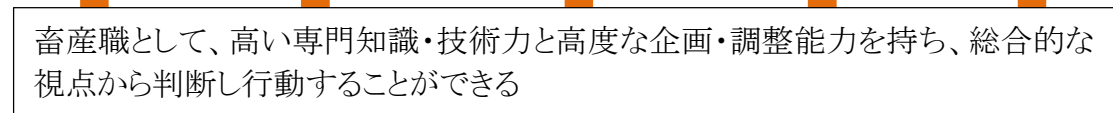


《キャリアイメージ》

区分	畜産		畜産	
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	受講すべき研修等
新規採用 	基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。 【本庁】 農業水産局畜産課 【地方機関】 農林水産事務所、家畜保健衛生所、畜産総合センター、同段戸山牧場、同種鶏場、農業総合試験場、農業大学校	【採用3年目まで】 ・畜産職員としての基礎固め ・畜産関係法令の基礎知識 ・各種畜産振興計画の概要理解 ・家畜の飼養管理技術、畜産農家経営指導等の基礎知識	取得が望ましい資格等	【農林水産部門研修】 ・新任農林水産部門職員研修 【畜産関係職員技術研修】 ・牛飼養管理研修 ・豚飼養管理研修 ・鶏飼養管理研修
技師・主任 (採用後8年間)	基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるように計画的に異動を行う。 ① 2ヶ所の所属を経験する。 ② 地方機関については、可能な限り、普及指導員普及資格を取得できる所属(農業改良普及課、農業大学校、農業総合試験場、畜産総合センター)を経験する。 	【採用8年目まで】 ・地域または県における畜産情勢把握、課題設定及び畜産振興施策の企画立案能力 ・先進的かつ高度な専門知識、技術力の修得 ・新技術、経営改善など普及指導に必要な専門知識・技術	【採用8年目頃まで】 ・農業普及指導員	【中央畜産技術研修】 ・技術者養成基礎研修(畜種別) ・畜産行政研修 ・畜産新技術研修 ・畜産環境保全研修(堆肥・汚水・臭気) ・食肉流通研修 【教育】 ・指導職員研修
主任級 (9年目以降) 	職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を積み重ね、適性を見出すとともに、実務の中心的役割を担う職員を目指す。 	【採用9年目以降主査級昇任まで】 ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力 ・指導力及び専攻運営能力	取得が望ましい資格等	取得が望ましい資格等
主査級	課題を設定し自ら取り組むことにより、畜産職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。 	・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・許認可申請者に対する適切な指導力	取得が望ましい資格等	【自治研修所研修】 ・主査級研修 【中央畜産技術研修】 ・技術者養成専門研修(畜種別)
課長補佐級 (主任主査)		・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・畜産に関する技術面での専門知識	取得が望ましい資格等	【自治研修所研修】 ・課長補佐級研修
課長補佐 (グループ班長)	グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。	・災害発生等緊急時における対応力 ・「食と緑の基本計画」等の県が策定する計画における企画力	取得が望ましい資格等	取得が望ましい資格等
備考 (その他関連措置)				